

若手・女性・外国人研究者、国際共著論文を対象に、国際的影響力の高い学術誌(WoS/Scopus収録誌)への英語論文の投稿を支援することにより、研究成果の国際的発信力を一層高め、大阪大学の研究力の強化を促進する。

## 本事業のポイント

長期にわたる(最長2年間)全般的なサポートの実施

- 論文の校正(再校正含む)
- 投稿前ピアレビュー
- 査読コメントへの対策
- リジェクトの場合の相談 等

外国人研究者へのサポート

英語・中国語での支援・相談等に対応

柔軟な受付体制

研究者が利用しやすいように、毎月受付期間を設定

専門性の高い支援

博士号をもつURAとアウトリーチ専門家によるチーム構成で、適切なアドバイスが可能

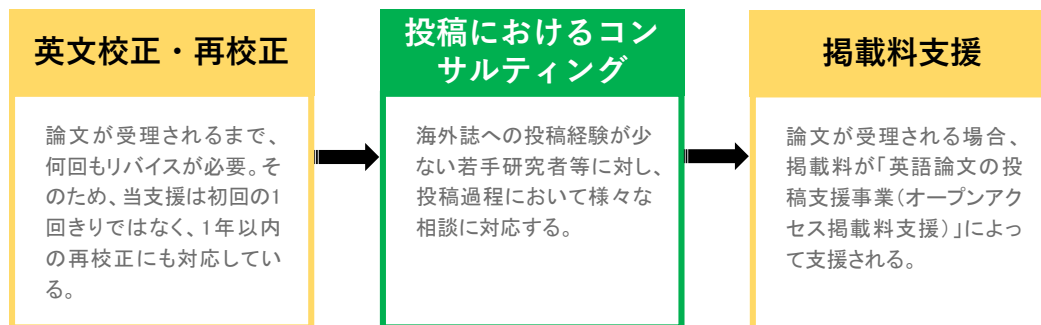
## 取り組み実績と得られた成果

平成26年度6月から当プログラムを開始して以来、研究者の声を反映させ、支援対象の拡大、支援内容の追加、支援チームの増員等、関係部局との連携によってさらなる経費の確保を経て、プログラムを充実してきた。平成30年度までに、合計201件の支援を実施した。

令和元年度以降は、プログラムの安定した運営を最優先に、研究情報の発信において変化しつつある研究者のニーズや国内外のトレンドを把握し、研究大学強化促進事業終了後も継続可能な支援の仕組みを提案することを目指す。

## 本事業の目指すイメージ

研究者が真に必要とする支援を効率よく提供 **費用支援** + **URAによる支援**



## 採択者の声

医学系研究科若手研究者より: 英語論文となるとハードルがあがるので、初回は支援があると非常に助かる。支援に加え、URAに相談できる体制があることは非常に頼もしい。

人間科学研究科女性研究者より: 普通の校正会社のコメントと違い、理由を書いてくれるので、理解しやすかった。仲間内だと表現より内容に目が行きがちなので、第三者的にURAの方にコメントをもらえて良かった。